

事業の背景・目的

・実績報告書（別紙10-3）を基に、事業の背景や目的、必要性、地域における生物多様性保全上の課題等を簡潔に記載（300文字以内）
本協議会は、前日光県立自然公園の横根高原地域における生態系の維持回復及び地域の活用を図ることに必要な取組を行うことを目的として平成25年に組織された団体である。県立自然公園第1種特別地域に指定（指定面積約3.6ha）される井戸湿原周辺において、生態系を維持・回復していくため、湿原の回復、外来植物の除去、野生鳥獣被害の低減、情報発信・学習機会の提供といった事業を実施している。井戸湿原本来の生態系が回復傾向にあるが、本事業を実施することで、事業継続のための予算不足や後継者育成といった本協議会の課題を解決することができ、生態系保全活動の効果をさらに高めることができる。

事業の内容

・実績報告書（別紙10-3）を基に、実施した事業結果の概要を簡潔に記載。事業が複数ある場合や、複数年度にわたる場合には、枠囲みを用いるとわかりやすい。

事業① 井戸湿原生態系の維持回復事業

- ・雑木・カラマツなどの伐採
- ・帯工の新設・補修
- ・モニタリング

事業② 野生鳥獣被害の低減事業

- ・シカ及びイノシシを対象とした侵入防止柵の補修
- ・シカやイノシシによる食害対策
- ・モニタリング

事業③ 普及啓発事業

- ・啓発冊子の発行

得られた成果

・実績報告書（別紙10-3）を基に、事業の成果、活動継続の見通し、事業終了後の展開等を簡潔に記載（400文字以内）
本協議会が実施する事業は生物多様性保全を目的としているが、湿原植生の生育環境の維持回復や、絶滅危惧種のアカンスゲやヒメアカネなど貴重な動植物の減少阻止と新種の生誕が効果として期待できる。また、普及啓発活動として発行した啓発冊子は、これまで継続してきたモニタリングにより得た横根高原の菌類（キノコ）の情報についてまとめたものであり、広い層に普及啓発の効果を得られることを期待している。また、今年度は本協議会の活動に興味を持ったことをきっかけに、モニタリング調査団体に新しいメンバーが加わるなど、徐々にではあるが関係人口増加の効果も出ている。

これら活動を継続することで、生態系の維持回復が図られ、本市の魅力の一つである井戸湿原の価値をさらに高めることができる。来訪者の増加によりその相乗効果として、周辺地域への周遊が期待できる。